

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドウィッシュかもだ			
○保護者評価実施期間	令和7年6月10日		～	令和7年6月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数)	20名
○従業者評価実施期間	令和7年6月10日		～	令和7年6月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年7月3日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成していること。	・子どもたちの年齢層を考慮し、アセスメント時や支援の中で本人の気持ちや言葉を聞き取る機会を設けている。 ・個別支援計画作成時のサービス担当者会議には保護者と子ども本人にも参加してもらい、強みや課題と一緒に確認したり、お困り感や要望について聞き取り、ニーズや課題に合った個別支援計画の作成ができるようにしている。	・今後も現在の取組を継続していく。 ・子どもや保護者が要望や思いを伝えやすくなるよう関係性作りや環境設定にさらに力を入れ、職員全体がニーズや課題を意識して支援をしていけるように情報共有や研修等の専門性向上に努めていく。
2	日頃から子どもの状況などを保護者の方と伝え合い、共通理解ができています。	・LINEや電話、送迎時の引継ぎ等を活用し、できるだけタイムリーに情報共有ができるように努めている。 ・思春期でなかなか様子が分からないことも多い年齢層なので、“事業所でしか見せない姿”を本人の気持ちに配慮しつつ、できる限り保護者の方へ共有し、安心することができるようにしている。	・今後も密な情報共有に努め、子ども本人の気持ちに配慮しつつも、保護者の方が安心できるよう様子を共有していきます。 ・思春期で家族や学校の友達には相談しにくいことを事業所では相談できるという方もいるので、今後も安心して相談してもらえる環境づくりに力を入れていく。
3	定期的にSNS等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報などを子どもや保護者に対して発信している。	・行事予定やお知らせ事項については、LINEや文書を活用し情報発信をしている。 ・レク等の特別な活動があった際にはInstagramやHUGシステム上に様子を発信している。 ・夏休み等の長期連休時には活動概要を記入した予定表を作成し、保護者や子どもたちに共有している。	・今後も今まで以上に様子が伝わりやすいよう情報発信に努めていく。 ・7月からはより手軽に事業所での取組を知ってもらえるように、ログインの必要なHUGシステム上ではなく、LINEを活用して通信を発行していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がないこと。	・受入をしてくれるところがない。 ・子どもたちの中には自分が放デイを利用していることを知られたくないという児童もいるので、地域の子どもとの関わりが不安感や拒否感につながる可能性があるため、事業所としては慎重にならざるを得ない。（現に地域の公園も場所によっては行きたくないという声があるときがある）	・子どもたちの心情に配慮しつつ、必要に応じて地域の子ともと活動する機会を検討していく。 ・地域の子ともとの関わりは抵抗が強い傾向があるので、現在積極的に取り入れている地域の大人との関わりを持つ機会を優先的に確保していく。（職場見学や市職員出前講座の利用など）
2	家族支援プログラムや保護者会などの開催、保護者同士の交流の機会が少ないこと。	・家族支援（懇談会）などは実施できていたが、ババママ会は昨年度は1度しか開催できなかった。 ・きょうだいイベントについて計画をしていたが、実施日の確保の難しさや参加者の不足が想定されたことから開催することをやめてしまった。	・今年度は複数回ババママ会等を実施していけるように今後計画していく。 ・来年度以降、年間計画を立てて研修会やババママ会などを実施していけるように検討していく。
3	各種マニュアルの内容や訓練を実施していることの周知ができていないこと。	・以前は各種マニュアルの内容をまとめたものを年度初めなどに共有するようにしていたが、今年度は事業譲渡による運営法人の変更があり通常通りのタイミングでの周知ができていない。 ・実施した訓練についてはHUGシステムを通じて共有をしていたが、全員が確認したかが事業所側ではわからないため、見ていない家庭もあると思われる。	・新たな法人になり、更新された内容もある為、現在新しいマニュアル内容を共有する準備をしている。準備が整い次第速やかに周知していく。 ・訓練内容については、手軽に確認できることと、確実に共有することから、7月から発行を開始する通信内に内容を記載していく。